

## 2017年度（平成29年度） 第11回 大規模災害対策セミナー

### 『寝屋川流域の大阪北河内・中河内地区における 大規模水害（洪水・高潮）に備える』

# 企 画 書

- セミナー名：2017年度（平成29年度） 第11回 大規模災害対策セミナー  
『寝屋川流域の大阪北河内・中河内地区における大規模水害（洪水・高潮）に備える』
- 主催：特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）
- 開催日時：2018年2月3日（土） 12:30～16:30（開場・受付 12:00～）
- 開催会場：大阪商業大学 ユニバーシティホール蒼天  
（〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町 4-1-10）  
HP: <http://ouc.daishodai.ac.jp/campusmap/souten.html>  
最寄り駅：近鉄奈良線「河内小阪駅」徒歩5分
- 募集予定人数：300名程度
- 募集対象者：行政担当者（特に地元自治体の関係職員、消防、警察等）、地元住民、地元企業
- 参加費：無料
- 内 容：

近年、全国的に想定を超える大雨に伴う被害が頻発していることを踏まえ、大阪府では、「タイムライン防災」について検討が進められています。

「タイムライン防災」とは、大規模な水災害（洪水、高潮、土砂災害）に対し、府民の命を守り、経済被害を最小化することを目的として、大阪府、市町村、地域の防災機関（消防団、水防事務組合等）、ライフライン、自主防災組織等が連携し、災害の発生前から発生後の防災行動計画をあらかじめ調整・合意しておくものです。

大阪府内では、タイムライン防災に関連する先行取り組みとして、大阪大規模都市水害対策検討会による避難体制の整備、「貝塚市域の高潮タイムライン」「寝屋川流域タイムライン」「土砂災害地区単位ハザードマップ」などの作成に着手しており、これらの先行取り組みを府内全域に、伝える、深める、拡げる「おおさかタイムライン防災」が進められています。

本セミナーでは、そのなかでも「寝屋川流域タイムライン」に着目し、北河内・中河内地区において大規模水害（洪水・高潮）が発生した場合の被害の様相や日頃からの備えの重要性について解説するとともに、大阪府が進めているこのタイムライン防災に対する備え、意識の向上を目的として開催するものです。

● 講義内容・スケジュール（案）

12:00～ 受付開始、開場

12:30～12:35 開会挨拶（河田 恵昭）

（特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）/ 理事長）

（関西大学 理事 / 社会安全学部社会安全研究センター長・特別任命教授）

12:35～13:45 講演 『いま心配な新たな水害の発生』

（講師）河田 恵昭 氏

（特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）/ 理事長）

（関西大学 理事 / 社会安全学部社会安全研究センター長・特別任命教授）

【講演概要】

地球温暖化の進行とともに、雨の降り方が変化し、特に激しい雨が降りやすくなっています。滅多に大雨が降るのではなく、頻繁に降るようになるのです。昔、大部分が湿地帯だった東大阪地区は、現在、密集市街地になっており、水害が起これば想像もできないような被害に見舞われます。大阪府も治水努力を継続していますが、それを上回る雨が降ることを想定しなければなりません。今から45年前の昭和47年に発生した大東水害を上回る寝屋川の氾濫が起こりかねないのです。このように複雑化した都市の洪水氾濫について説明します。



13:45～14:55 講演 『北河内・中河内地区における豪雨災害とその備え』

（講師）川池 健司 氏

（京都大学防災研究所 流域災害研究センター 河川防災システム研究領域 / 准教授）

【講演概要】

毎年、日本の各地で豪雨による災害が発生しています。また、河川の整備とともに、全国的に洪水ハザードマップを配備するなどのソフト対策が進められ、近年では内水氾濫のハザードマップの準備を進めている地域もあります。北河内・中河内地区では、どのような形で水災害・土砂災害が発生するのか、それに対してどのような対策が進められているのか、他の地域と比べてどのような違いがあるのか、災害前・災害時にどのようなことに注意すべきなのか、といった点に着目して北河内・中河内地区の豪雨災害について考えます。



14:55～15:10 休憩

15:10～16:25 講義

『いのちを守る防災気象情報 ～警報・情報の“最新”利活用マニュアル～』

（講師）片平 敦 氏

（関西テレビ報道ランナー気象予報士、社団法人ADI災害研究所理事）

### 【講演概要】

「気象台から発表される防災気象情報にはさまざまな種類があり、どれをどのように使ったら良いのかよくわからない、という声も聞かれます。一方で、2017年出水期からは、警報等の発表手法に変更があったり、警報等の利用を補完する新たな情報が発表開始になったり、防災気象情報のさらなる高度化・詳細化も進んでいるところです。

正しく知識を持ち利用すれば、『いのちを守る』大きなよりどころとなる防災気象情報について、最新の仕組みや、住民の方としてはどのように活用すれば良いのかなど、具体的・実践的に解説します。



16:25～16:30 閉会挨拶

### 【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）事務局

〒531-0074 大阪市北区本庄東 2-3-20 (株)ニュージェック技術開発グループ気付

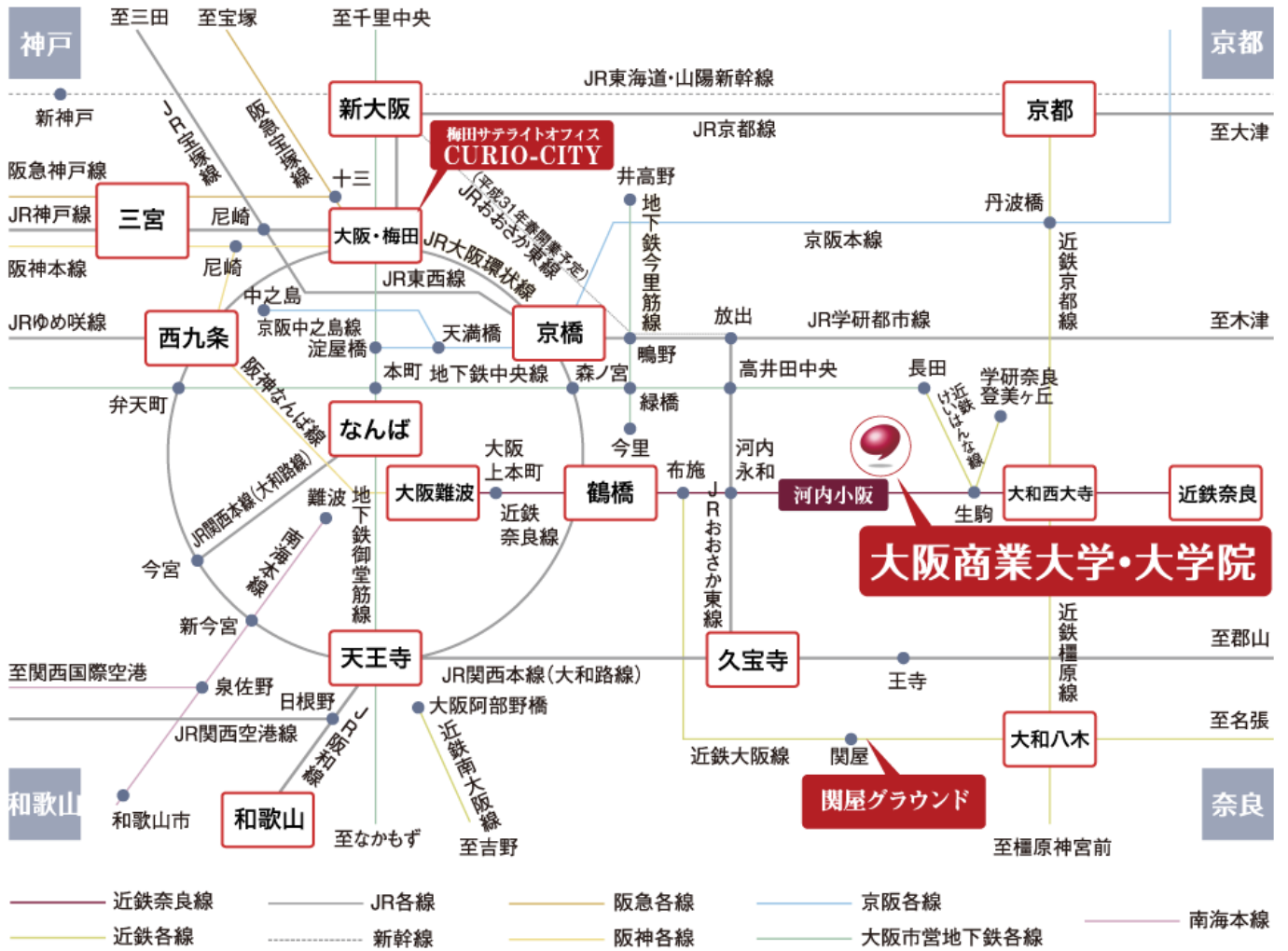
担当： 事務局長 吉田和郎

(TEL) 06-6374-4420 (不通の場合 06-6374-4814 高木)

(FAX) 06-6374-5108

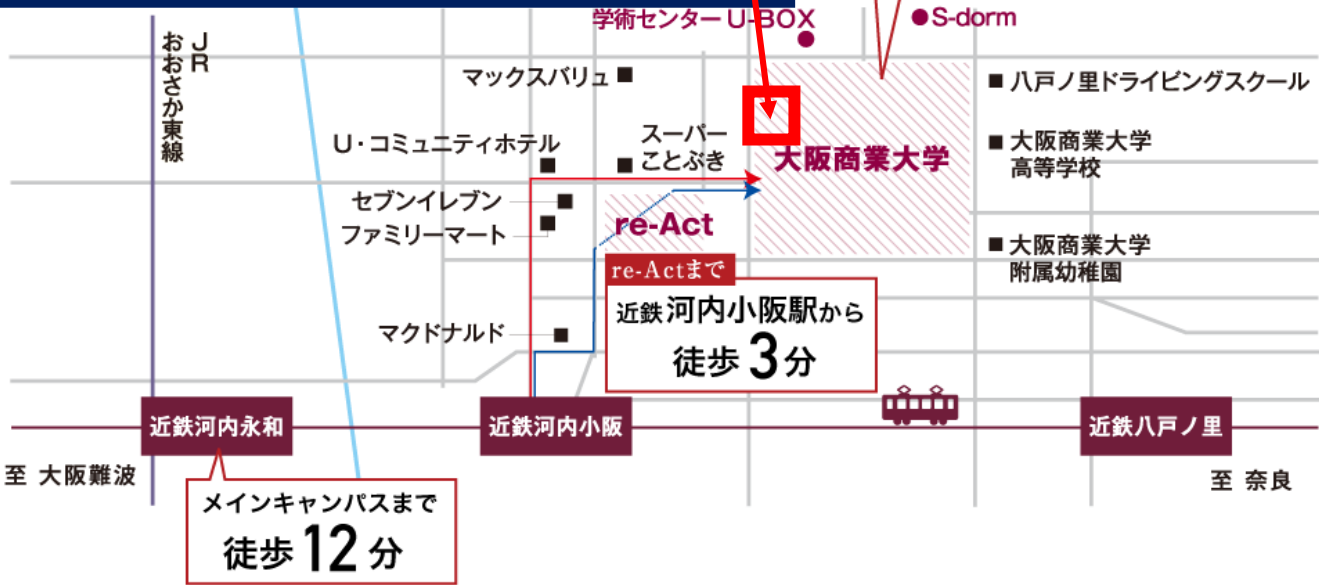
E-mail : [cdr@newjec.co.jp](mailto:cdr@newjec.co.jp)

<http://www.e-tsunami.com/>



ユニバーシティホール蒼天

メインキャンパスまで  
近鉄河内小阪駅から 徒歩5分  
re-Actの中を通り抜けて  
メインキャンパスへ行くことも可能



re-Actまで  
近鉄河内小阪駅から  
徒歩3分

メインキャンパスまで  
徒歩12分